

2023年度活動・事業計画

(2023年4月1日～2024年3月31日)

活動方針(8つの柱)

第1の柱 — 会員組織の拡大・会員活動を活発にします

1. 協力会員の拡大については年間20人を目指します。ボランティア説明会は理事の協力も得て毎月開催します。
2. 現行のふれあいサービス以外にも利用会員の困りごとに積極的に対応できるよう活動を活発にしていきます。
3. たすけあい活動、サロン・居場所活動以外に会員参加の機会を作ります。地域の交流のための活動を開催します。会員の親睦を図るため、誕生会・ふれあい敬老会・新年会を計画し、バスを利用したお出かけを秋に開催します。

第2の柱 — たすけあい活動、運営への会員参加

1. ふれあいサービスは移動サービスを中心に、利用者・協力者・活動時間ともにコロナ以前の水準を目指します。
2. 新しい会員が活発に活動できるようブラザー制度をすすめていきます。
3. 移動サービスのうち定年を迎えた会員が新しい分野の活動へ参画できるよう引き続き提案していきます。

第3の柱 — 制度サービス(在宅)は包括的視点の強化

1. 居宅介護支援サービスは、現状の人数を確保し、請求ベースで月200件を目指します。
2. 訪問介護サービスは、月200時間の提供を目指します。
3. 計画相談サービスは、現行の利用者を基本にします。
4. 障がい福祉サービスの移動支援を再開できるよう、準備します。
5. スタッフの研修計画を定め、全員のスキルアップをめざします。

第4の柱 — みんなんちは地域交流の拠点に

1. 人数制限をなくし定番の参加者や会員以外の方も参加できるようにしていきます。
2. 地域の交流拠点となるよう、新講座・新企画を検討します。
3. 誰でも立ち寄ることができる「みんなんちカフェ」を復活させます。
4. 2022年度に開催した地域交流イベント「みんなんち広場」を今年度も開催します。松戸市内の様々な団体に参加を呼びかけ、ふれあいネットまつどを地域交流の拠点としていきます。

第5の柱 — デイサービスるんるんの活動を充実させます

1. 運営コンセプトである、「利用者も介護者もなんかホッとする居心地の良いデイサービス」を目指して活動していきます。
2. 職員の労働環境の向上を目指し待遇改善・環境改善を行います
3. 新たな介護報酬加算を検討していきます（個別機能訓練加算全日算定・サービス提供体制加算等）
4. 稼働利用者数の目標を30名とし、1日の利用者数12名を目指します。

第6の柱 — 教育・研修活動の充実強化を図ります。

1. 市民を対象に、地域活動担い手研修会（移動サービス・福祉有償運送運転者研修・介護初任者研修）を開催します。
また、研修に参加した人が、ふれあいネットまつどの活動に参加してもらえる仕掛けと働きかけを行います。
 2. 会員を対象に、運転者研修とテーマ別のスタッフ研修を計画的に実施します。
-

第7の柱 -東日本大震災支援活動

1. 引き続き今年度も宮城県東松島市のコミュニティサロン「東松島みんなんち」を支援していきます。
2. 今年こそは東松島の皆さんとふれあいネットまつど会員・市民とが交流する機会を作ります。

第8の柱 -役員体制・事務局機能の強化と財政基盤の確立

1. 事務局スタッフ各自が自分の仕事に数字で責任を持てるようにします。
 2. 理事会は毎月開催し問題解決していきます。
 3. 週1回の企画会議、月1回のスタッフ会議で情報を共有し事務局機能を強化していきます。
 4. 役員と事務局スタッフが協力して年間行事を担い企画から運営していく体制を進めていきます。
 5. 財政基盤を確立し、黒字体質に転換できる様取り組みます。そのために事業費のコスト削減に傾注します。
-